

# 北見工業大学学報

第 305 号 (2021 年 5 月号)

## 目 次

入 学 式	令和 3 年度入学式を挙行……………	2
告 辞	令和 3 年度入学式告辞……………	4
研 究 助 成	令和 3 年度科学研究費助成事業交付内定一覧……………	6
	令和 3 年度外部資金の受入状況……………	9
受 賞	本学大学院生が日本金属学会 2021 年春季講演大会で優秀ポスター賞を受賞…	10
	機械電気系の森田慎一教授が 2020 年度日本機械学会教育賞を受賞……………	11
	本学大学院生が地盤工学会北海道支部賞 (学生部門) を受賞……………	12
諸 報	本学学生が気象予報士試験に合格……………	13
	無機材料工学研究室が感謝状を受贈……………	14
	北見工業大学社会連携推進センター推進協議会総会を開催……………	15
	北見市産学官連携推進協議会総会を開催……………	16
	「新入生へのブックガイド 2021」を発行……………	17
お し ら せ	東北地区進学相談会の中止……………	18
	オープンキャンパスの開催予定……………	18
日 誌	4 月・5 月……………	19

## = 入学式 =

### 令和3年度入学式を挙行

(総務課)

4月17日(土)、令和3年度入学式を本学講堂で挙行しました。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策として式典を3回に分けて行い、学部411人、学部編入学22人、大学院博士前期課程121人及び大学院博士後期課程7人に対し

て、鈴木聡一郎学長が入学許可した後、学長告辞を行いました。

式典毎に、代表の入学生から今後の誓いを込めた力強い宣誓があり、入学式は無事終了しました。

なお、入学者数は次のとおりです。

#### 学 部

学 科 名	入学者数(人)
地球環境工学科	195
地域未来デザイン工学科	216
合 計	411

#### 学部編入学

学 科 名	入学者数(人)
地球環境工学科	10
地域未来デザイン工学科	12
合 計	22

#### 大学院博士前期課程

専 攻 名	入学者数(人)
工学専攻	121
合 計	121

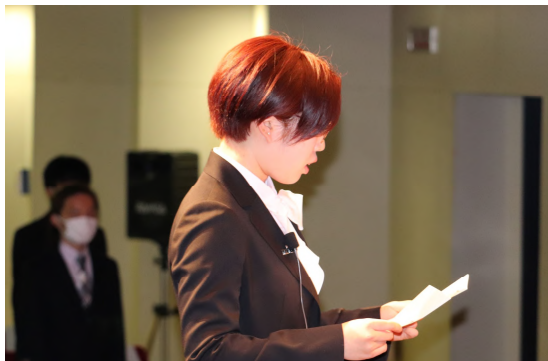
#### 大学院博士後期課程

専 攻 名	入学者数(人)
生産基盤工学専攻	3
寒冷地・環境・エネルギー工学専攻	1
医療工学専攻	3
合 計	7



学長告辞

【各回の宣誓】



地球環境工学科  
細川 愛実さん



地域未来デザイン工学科  
佐藤 嶺次さん



大学院工学研究科博士前期課程 工学専攻  
加藤 大地さん

## = 告辞 =

### 令和3年度入学式告辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

北見工業大学の教職員を代表しまして、皆さんのご入学を心から歓迎いたします。

本学は、地域の大きな期待を受け、国立北見工業短期大学として1960年に開学し、昨年、60周年を迎えることができました。開学当時の入学定員はわずか80人でしたが、その後、1966年に四年制大学となり、大学院設置や国際化を推進した結果、現在では二千を超える学生が在籍する規模となりました。今年度は、学部には8人の留学生を含む411人の新入生と22人の編入生が入学しました。また大学院には6人の留学生を含み、博士前期課程に121人、博士後期課程には7人が入学し、総勢561人の学生諸君が入学しました。

例年、北見市民会館で開催している入学式は、新型コロナウイルスの感染拡大により、本学講堂にて分割開催することになりました。本日、皆さんの晴れ姿を、ご家族やお世話になった方々に直接ご披露できないことは、非常に残念に思います。また、学部に入學された皆さんは、大学入学共通テストや英語4技能に係る民間試験への対応、さらにコロナ禍による授業の遅れや入試日程の変更など、大きな不安や困惑の中、難関を突破して入学して来られたものと理解します。大学院に入學された皆さんも、卒業研究の遅れや研究発表、入試対応では大変苦勞したことと思います。是非、この貴重な体験を無駄にせず、ご自身の人間的成長と、入学後の学びに活かして頂きたいと思います。

今回のコロナ禍は、世界中の人々に多くの深刻な被害をもたらす一方で、大学でもオンライン授業が主流となったように、社会全体でIoTの実装を加速しました。様々

な経済活動がビッグデータ化され、それを分析・活用することで新たな経済価値を生み出し、複雑な判断を伴う労働やサービスが、AIに代替されつつあります。米国の著名な発明家、未来学者であるレイモンド・カーツワイル氏は、人工知能研究の世界的権威として知られており、人類は2045年に技術的特異点：シンギュラリティを迎え、人工知能が人間の知能を上回り、それ以降は人間の想像を超越して社会が進化していくと予測しています。

さらに、ポストコロナの時代を迎えるにあたり、本邦ではSociety5.0の実現、地方分散型社会への変革が、より現実味を増してきていると感じます。これを大きな転機と捉え、政府はデジタルトランスフォーメーション：DXを強力に推し進めようとしています。一般的にDXとは、最新のデジタル技術を駆使した、デジタル化時代に対応するための企業等の変革を指し、デジタル技術やビッグデータを活用した製品、サービス、ビジネスモデルの開発を進め、競争上の優位性を確立することを意味します。

このように、情報技術を基盤として世界が大きく変わりつつある中、工学を専門とする未来の技術者に求められる素養は、今後大きな転換期を迎えることとなります。これからの技術者には、広い視野で多角的に物事を捉え、人間社会の多様性を理解し、高度な専門知識で複雑化する課題解決に取り組む能力が求められます。本学では、単に専門知識を修得するだけに止まらず、広い視野と分野横断的な応用力を積極的に身につけてください。そして、我々の日常生活を一変させたパンデミックの終息後は、是非、人間社会の多様性を理解するための第一歩として、大学生活の中でより多くの学生と接し、新たな友人を作ってください。

多様な個性や背景を持つ、多くの友人と意見を交わしながらコミュニケーション力を磨き、皆さんの将来に活かして欲しいと切に願います。

結びになりますが、大学での学生生活は皆さんの人生にとって、大変貴重な経験と

なり、記憶に残るものとなります。輝かしい未来への希望を胸に、大学生活の一瞬一瞬を大切に過ごしてください。皆さんの学生生活が充実したものになるよう祈念いたしまして、歓迎の挨拶とします。

令和3年4月17日  
北見工業大学長 鈴木 聡一郎

= 研究助成 =

令和3年度科学研究費助成事業交付内定一覧

(研究協力課)

○新学術領域研究(研究領域提案型)

氏名	職名	研究課題	交付内定額 (単位:千円)	新規	継続
佐藤 和敏	助教	南極暖湿化の原因とその影響の定量化	2,860		○

○基盤研究(B)一般

氏名	職名	研究課題	交付内定額 (単位:千円)	新規	継続
古瀬 裕章	准教授	異方性多結晶レーザーセラミックスの創製:ナノ組織化と配向制御	8,450	○	
大津 直史	教授	超弾性NiTi合金への陽極酸化によるTiO <sub>2</sub> 皮膜形成一機序の解明と表面機能の評価	9,230	○	
亀田 貴雄	教授	氷上を滑るストーンが曲がるメカニズムの解明およびその科学的成果の応用	13,000	○	
渡邊 康玄	教授	扇状地河川における突発的な河道の移動現象の機構解明とその対策手法の開発	2,990		○
川村 みどり	教授	銀薄膜の高湿度下での耐性向上のメカニズムの解明	2,730		○
齋藤 徹	教授	気液界面修飾型薬物捕捉場の創成と持続可能な水系反応分離工学の構築	2,340		○
川尻 峻三	准教授	間隙水圧の多地点観測による堤防決壊リスクの見える化技術の確立	6,110		○
小原 伸哉	教授	CO <sub>2</sub> ハイドレート熱サイクルによる低温排熱の電気エネルギー変換	7,020		○
平井 慈人	准教授	d電子間に働く強い相互作用が生み出す酸素発生触媒の開発	2,080		○
南 尚嗣	教授	バイカル湖で解き明かす環境変動によるメタンハイドレート分解と温室効果ガスの放出	5,070		○

○基盤研究(C)一般

氏名	職名	研究課題	交付内定額 (単位:千円)	新規	継続
戸澤 隆広	教授	定形関係節と縮約関係節の統語論研究	650	○	
梅村 敦史	准教授	風力発電の系統連系インバータの仮想同期発電機LMI制御	1,950	○	
田口 健治	准教授	超高解像度人体モデルと大規模解析に基づく準ミリ波・ミリ波帯人体ばく露の安全性評価	1,300	○	

氏名	職名	研究課題	交付内定額 (単位:千円)	新規	継続
黒河 賢二	教授	ファイバヒューズの発生伝搬を抑圧する方法の検討	2,210	○	
兼清 泰正	准教授	分子刺激応答性ゲルの形状変化機能に基づいた新規センシングシステムの開拓	1,820	○	
金 敬鎬	教授	新規複合ナノ構造体のデザインとその電気化学的反応機構解明による高機能化	2,080	○	
武山 眞弓	教授	極薄バリヤの構造解析における革新的解明とCu配線の配向制御	2,080	○	
柴田 浩行	教授	二ホウ化マグネシウム超伝導単一光子検出器の高性能化	1,950	○	
井上 真澄	教授	亜硝酸リチウムにより耐寒性を付与した高機能グラウトの開発	1,690	○	
宮森 保紀	准教授	FEM解析と高密度点群モデルの融合による実構造物の構造性能評価	1,820	○	
吉川 泰弘	准教授	寒冷地河川河口周辺の海岸に堆積するジュエリーアイスの出現時期推定手法の開発	1,560	○	
高橋 清	教授	自転車走行環境の多様性を考慮した乗り心地評価システムの構築	2,210	○	
前田 康成	教授	農業収益を最大化する統合的な農業意思決定支援方法の基礎理論の構築	2,080	○	
酒井 大輔	准教授	電圧プリント法を応用したソーダライムガラスへの光情報表示機能創製	1,170	○	
曾根 宏靖	准教授	太陽光直接励起による無給電光ファイバー通信システムの開発	1,950	○	
浪越 毅	准教授	SCAT重合による高強度超分子自立膜の創製とガス選択分離膜としての応用	1,560	○	
佐藤 利次	教授	シイタケゲノム編集技術の確立と子実体保存性関連遺伝子の解析	1,300	○	
橋本 泰成	准教授	ブレイン・マシン・インタフェース型ペットサイド下肢運動訓練システムの臨床応用	2,600	○	
駒井 克昭	教授	森里川海をつなぐ環境負荷の高度な管理に向けた環境動態解析モデルの開発	3,250	○	
升井 洋志	教授	核子対相関と非束縛状態を基とした核構造の多様性の系統的解明	0		○
柴田 浩行	教授	超伝導単一光子検出器の20K動作	0		○
大津 直史	教授	非水溶媒陽極酸化を用いた“感染症を防ぐ”可視応答光触媒被膜チタン手術器具の創製	0		○
蒲谷 祐一	准教授	低次元多様体の基本群の高次表現と幾何構造	520		○
新井 博文	教授	二酸化チタンによる皮膚の酸化ストレス障害と天然抗酸化物質による予防	1,560		○
吉田 裕	准教授	放射光透過ラウエ法を用いた曲げ負荷中の単結晶の回転と残留ひずみ解析	520		○

氏名	職名	研究課題	交付内定額 (単位:千円)	新規	継続
中村 大	准教授	寒冷地における植生工の補強効果とその限界に関する明示化	780		○
富山 和也	准教授	ハンドル型電動車椅子の乗り心地に基づく歩道路面の点検および診断システムの開発	780		○
白川 龍生	准教授	日本版「冬の厳しさ指数」の提案 – 雪環境変化を見据えた予防保全型マネジメント	650		○
林田 和宏	教授	燃料中の硫黄分が船用ディーゼル機関のすす粒子特性に及ぼす影響の解明	520		○
河野 義樹	准教授	イメージベース結晶塑性解析を用いたチタン合金のひずみの再分配機構の解明	1,560		○
阿部 良夫	教授	基板とターゲットの表面状態を独立に制御した高速スパッタ成膜技術	910		○
原田 建治	教授	汎用ガラスを用いたホログラム採光窓の作製	780		○
安井 崇	准教授	高性能・広帯域な光集積回路設計のための製造容易性を考慮した自動最適設計システム	650		○
杉坂 純一郎	准教授	ホロ・レコグナイザ: 計算機から光学系への機械学習拡張による物体の完全3次元知覚	780		○
Claro Jennifer	講師	The Effect of English-Speaking Role Models on the Motivation to Learn English of Japanese University Students	390		○
松田 一徳	准教授	非 Cohen-Macaulay 環における環論的不変量の相互関係の探求	520		○
吉澤 真吾	准教授	水中音響通信におけるレトロディレクティブ方式送信ビームフォーミングの実験検証	650		○
平山 浩一	教授	ミリ波帯における自由空間法の測定精度を決める要因の解明	520		○
川口 貴之	教授	変わりゆく気候や社会も見据えた積雪寒冷地に適したのり面保護工の開発と提案	1,820		○
岡崎 文保	准教授	バイオメタン直接改質を利用した大気中二酸化炭素固定化プロセスの開発	1,040		○
木場 隆之	准教授	金属ナノ構造を用いた量子ドットLEDの高効率化とその機構解明	780		○
吉田 孝	特任教授	硫酸化糖鎖の未解明抗ウイルス性メカニズムの解決	1,300		○
大野 智也	教授	ナノ構造制御により活性サイトの溶出を抑制したコアシェル型酸素発生触媒の開発	910		○
木田 真人	助教	自然冷熱を活用した低炭素資源貯蔵のためのクラスレートハイドレートのガス包蔵性解明	390		○

○若手研究

氏名	職名	研究課題	交付内定額 (単位:千円)	新規	継続
ラワンカル アビジット	准教授	自律ロボットによる Smart Viticulture の自動化システムの開発	2,080	○	



氏名	職名	研究課題	交付内定額 (単位:千円)	新規	継続
中里 浩介	准教授	アルペンスキージュニア選手における競技会に求められる体力の検討	2,860	○	
宮崎 健輔	准教授	汎用プラスチックを用いたリサイクル型生分解性循環材料の開発	0		○
竹腰 達哉	助教	サブミリ波帯多色サーベイ観測による宇宙星形成史の解明	0		○
齊藤 剛彦	准教授	リアルタイムハイブリッド実験による極低温環境下の免震橋梁の地震応答の解明	0		○
蔭西 知子	特任研究員	シグナリング分子としての細胞外 ATP の植物での分泌・受容機構の解明	520		○
渡邊 達也	助教	同時多点位置観測から地すべり発生プロセスを解明する	910		○
ウ アテイ	助教	労働集約型作業における生産性に係わる人材力向上に関する研究	650		○
澁谷 隆俊	助教	すばる望遠鏡 広領域探査データを用いた遠方銀河形態の研究	910		○
Feng ChaoHui	助教	Innovative meal: characterization of sausages stuffed in a new novel casing formulation with flavonoids extracted from waste orange peel based on terahertz spectroscopy and imaging	1,300		○

○特別研究員奨励費

氏名	職名	研究課題	交付内定額 (単位:千円)	新規	継続
大岩 真子	特別研究員	界面分離型薬物捕捉場の設計と低環境負荷・持続可能型水環境保全技術の開発	800		○

## 令和3年度外部資金の受入状況

(研究協力課)

	令和3年5月31日 までの合計		前号までの合計		令和3年度累計	
	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)
共同研究	60	47,997	—	—	60	47,997
受託研究	8	55,284	—	—	8	55,284
奨学寄附金	6	7,700	—	—	6	7,700

## = 受賞 =

### 本学大学院生が日本金属学会 2021 年春季講演大会で 優秀ポスター賞を受賞

(マテリアル工学専攻)

3月16日(火)～19日(金)にオンラインで開催された公益社団法人日本金属学会2021年春季第168回講演大会において、本学大学院生の谷保大樹さん(ポスター発表時、博士前期課程マテリアル工学専攻1年)が優秀ポスター賞を受賞しました。

谷保さんの講演題目は「硝酸電解液パルス陽極酸化におけるNiTi合金上への耐食皮膜成長」であり、大津直史教授の指導下で行った、血管内治療等に用いる医療機器であるステントやガイドワイヤーの新規開

発に関する研究成果です。

日本金属学会は、金属に関する理論ならびに工業の進捗発達をはかることを目的として1937年に創設された由緒ある学術団体であり、今回の春季講演大会は全国から約1,200人以上が参集し開催されました。

優秀ポスター賞は同講演会において卓越したポスター発表を行った発表者に贈られるもので、谷保さんの受賞は105件の中から選ばれた30件のうちの一つでした。



受賞した谷保さん

## 機械電気系の森田慎一教授が 2020 年度日本機械学会教育賞を受賞

(機械電気系)

機械電気系の森田慎一教授が、教育業績名「ナレッジマネジメント（知識経営）の導入によりスターリング冷凍機競技 12 年連続日本一を達成した工学教育」により、一般社団法人日本機械学会「2020 年度日本機械学会教育賞」を受賞し、4 月 22 日（木）に表彰報告がライブ配信されました。

日本機械学会教育賞は、独創性、教育の効果、当該分野での周知度、教育活動を通じた社会への貢献度が評価され、機械工

学・工業分野に関わる教育活動において顕著な業績をあげた個人またはグループに授与されます。

森田教授は、個人の知識や情報（暗黙知）を組織内で共有（形式知）するナレッジマネジメント（知識経営）を導入したのづくり教育を行ってきました。この度は、自作設計・製作冷凍機などの競技会において、連続日本一を獲得するなど、優れた教育成果が評価されての受賞となりました。



ライブ配信での受賞者紹介



賞状と副賞

## 本学大学院生が地盤工学会北海道支部賞（学生部門）を受賞

（地域と歩む防災研究センター）

このたび、本学大学院生の引地祥太さん（論文発表時、地球環境工学科4年、指導教員：川尻峻三准教授）が、公益社団法人地盤工学会北海道支部より、令和2年度地盤工学会北海道支部賞（学生部門）を受賞しました。

この賞は、地盤工学会北海道支部発行の「技術報告集」に掲載された論文の中から、研究内容に加えて学会発表時のプレゼンテーション力についても評価の対象となって選出されるものです。

引地さんの論文タイトルは「河川増水時

の橋脚不安定化に関する地盤工学的なメカニズムとモニタリング手法の検討」です。

これは本学地域と歩む防災研究センター（以下 SAFER）で取り組んでいる積雪寒冷環境における地盤防災・減災技術の研究・開発に関するものであり、北見市・株式会社ダイヤコンサルタント・SAFER との共同研究および大阪大学・株式会社エーティクから協力を受けて実施した屋外大規模実験などの成果が高く評価されての受賞となりました。



受賞した引地さん

## = 諸報 =

### 本学学生が気象予報士試験に合格

(地域と歩む防災研究センター)

1月31日(日)に第55回気象予報士試験が実施され、本学学生の石井日菜さん(地球環境工学科4年、指導教員：白川龍生准教授)が見事合格し、気象予報士として登録されました。

石井さんは本学入学後、気象予報士でもある白川准教授の雪氷防災研究室のゼミに

参加して研鑽に励み、さらに自己学習を積み重ねて今回の合格をつかみ取りました。

第55回気象予報士試験は、受験者2,616人のうち合格者146人(うち女性29人)で、合格率5.6%の難関でした。今後、気象予報士としての石井さんの活躍が期待されます。



気象予報士試験に合格した石井さん

## 無機材料工学研究室が感謝状を受贈

(応用化学系)

本学無機材料工学研究室（応用化学系 大野智也教授）が、4月20日（火）に名古屋市港消防署長より感謝状の贈呈を受けました。

この感謝状は、本年4月1日に名古屋市港区で発生した金属精錬工場での火災の際、現場で収去された検体の分析を無機材料工学研究室が実施し、金属精錬工場の火災原因究明に多大な貢献をした事に対して贈られたものです。

新型コロナウイルス感染症の影響により贈呈式は行われませんでした。感謝状を受け取った研究室のメンバーは、自分達が本学で学んだ知識を活かし、工場火災の原

因究明に役立つような社会貢献が出来たことに喜びを感じると共に、今後本学での研究活動を通じて、更に知識を深めていきたいと意気込みを語っていました。

今回の分析を主導した大野教授は、火災現場の検体分析において、学生達がそれぞれのベストを尽くし、社会に役立つような仕事を実際に行った事で、学生達の自信に繋がったのではないかと語るとともに、遠く離れた名古屋での工場火災の原因究明に対して、国立大学法人の教員として社会貢献が出来、たいへん名誉なことだとも語っていました。

### <感謝状受贈者>

北見工業大学 無機材料研究室

(教員) 大野 智也 (応用化学系 教授)

(学生) 石田 竜之介 (大学院 工学専攻 応用化学プログラム 1年)

郷野 洋心 (地球環境工学科 先端材料物質工学コース 4年)

指田 将孝 (地球環境工学科 先端材料物質工学コース 4年)

渡邊 一生 (地球環境工学科 先端材料物質工学コース 4年)

(技術補佐員) 阿部 杏奈



感謝状を受贈した無機材料工学研究室のメンバー（前列中央が大野教授）

## 北見工業大学社会連携推進センター推進協議会総会を開催

(社会連携推進センター)

4月20日(火)、北見工業大学社会連携推進センター推進協議会総会が書面により開催されました。

本協議会は、本学の社会連携推進センター(以下CRC)を中心に、オホーツク地域の行政・民間機関との共同研究、研究交流、技術の指導・教育・開発などを推進することを目的として、北見市が運営している組織です。この目的を達成するため、CRCは毎年本協議会から、貴重な活動資金を支援いただいております。

総会において、CRCの2020年度事業報告及び2021年度事業計画(案)が説明され

るとともに、本学の研究成果として社会環境系の中村大准教授から「植物根系による地盤の補強効果に関する研究」が報告されました。

また、令和3年4月1日付けで地域国際系の藤井享教授が社会連携推進センター長に就任したことについて、藤井センター長からの挨拶状を同封し、委員の皆様にお知らせしました。

今後も本協議会からの御支援の下、CRCがオホーツク地域において産学官連携の中心的な役割を担っていただけるよう努めてまいります。



中村大准教授の研究報告資料

## 北見市産学官連携推進協議会総会を開催

(社会連携推進センター)

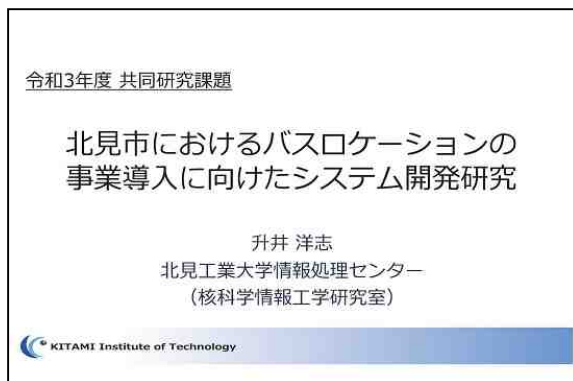
5月14日(金)、北見市産学官連携推進協議会総会が書面により開催されました。本協議会は、北見市、経済団体、行政機関及び大学関係者の連携を図り、北見地域における新産業の創出や産業クラスターの構築を支援しています。

令和2年度事業報告では、本学情報処理センター長の升井洋志教授から、本協議会との共同研究「北見市におけるバスロケーションシステムの導入実証実験」について成

果報告を行いました。

また、升井教授が進める「北見市におけるバスロケーションの事業導入に向けたシステム開発研究」が、令和3年度事業計画(案)の一つとして審議され、共同研究契約の申請が承認されました。

本学は当協議会との連携を通じて、今後も産学官連携活動の拡充に繋げていきたいと思いをします。



升井教授による共同研究課題説明資料



バスロケーションシステムの広報ポスター



# 「新入生へのブックガイド 2021」を発行

(情報図書課)

本学図書館において、新入生への推薦図書をまとめたパンフレット「～教職員と先輩がすすめる～新入生へのブックガイド 2021」を作成しました。

「新入生へのブックガイド」は、新入生が図書館を利用するきっかけとなるよう作成したものです。工学を学ぶ上での入門書から暮らしや趣味、雑学に関するものまで、幅広い分野の図書を紹介する内容となっており、40 ページの中でバラエティに富んだ 35 冊を紹介するブックガイドとなりました。

パンフレットの作成にあたっては、教員や事務職員、技術部職員のほか読書推進活動を行う学生ボランティア団体「ブック・プロジェクト」、図書館で働いている大学院生にも紹介原稿の執筆に協力してもらいました。

こちらのパンフレットは本学の機関リポジトリ KIT-R で公開していますので、興味のある方は新入生に限らず、ぜひご覧になってください。



「新入生へのブックガイド」



ブックガイドの内容

= おしらせ =

## 東北地区進学相談会の中止

(総務課)

例年6月下旬に青森市、八戸市、盛岡市で開催している東北地区進学相談会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年度に引き続き止むを得ず中止することとなりました。

## オープンキャンパスの開催予定

(総務課)

昨年度、止むを得ず中止することとなったオープンキャンパスですが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたうえで、各回の規模を縮小し、7月31日(土)、8月1日(日)、21日(土)、28日(土)の計4回に分けて開催します。

なお、昨年度に引き続き、WEBオープンキャンパスを7月下旬から公開する予定です。

## = 日誌 =

### 4 月

- 7日 進路選択支援室会議
- 8日 就職活動支援室会議
- 14日 教育研究評議会
- 15日 アドミッションセンター運営会議
- 16日 発明審査委員会、地域連携・国際交流委員会（書面審議）
- 17日 入学式
- 20日 学生委員会
- 22日 経営協議会（書面審議）、教務委員会
- 23日 教授会（書面審議）
- 28日 役員会

### 5 月

- 6日 編入学（推薦）出願受付（～12日）
- 7日 進路選択ガイダンス
- 13日 発明審査委員会、地域連携・国際交流委員会、インターンシップガイダンス
- 14日 教務委員会
- 19日 大学評価委員会、教育研究評議会、役員会
- 20日 学生委員会
- 26日 役員会、インターンシップセミナー（～27日）、編入学（推薦）面接試験
- 28日 インターンシップガイダンス